

2018年11月13日

**「プラスチック資源循環アクション宣言」**  
～みんなの力でプラスチック資源の循環に取り組もう～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

株式会社セブン-イレブン・ジャパンは、プラスチックが、海洋ごみ問題をはじめ環境中に放出されて大きな影響を与えていることを踏まえ、今後未来に向けて、ごみとして環境中に放出されることなく、資源として適切に循環されていくよう、ペットボトルのリサイクルに取り組んでおります。

- ・ ペットボトル回収機の設置  
セブン-イレブンの首都圏 300店舗に設置

資料 : セブン-イレブンニュースリリース 2017年11月30日  
ペットボトル回収機スキーム

連絡先

担当部署: 企業行動推進室 環境推進

電話番号: 03-6238-3704

#### 消費者参加型のリサイクルを推進

2017年11月29日

## セブン-イレブンの店舗を活用した“循環型社会”構築に向けた取り組み ペットボトル回収機の設置拡大

～12月より東京都と埼玉県のセブン-イレブン計300店舗に順次設置～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古屋 一樹）は12月より、ペットボトル回収機の設置店舗を、東京都と埼玉県の前300店舗に順次拡大いたします。

ペットボトルの消費量は年々増加しており、資源の有効活用が課題となっています。当社では、2015年12月より、東京都江東区内の5店舗でペットボトル回収機の設置テストを実施してまいりました。

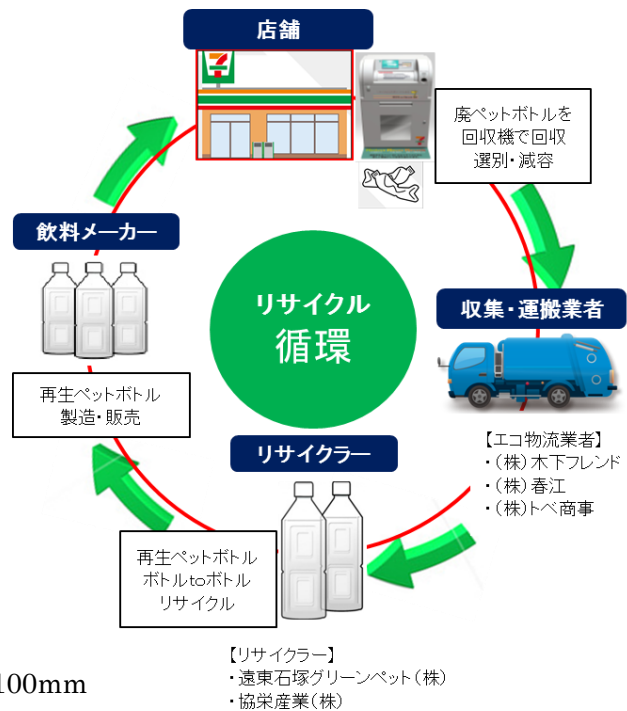
今回の取り組みを機に、国内での循環をさらに推進するために、店頭回収機に集まったペットボトルを再生し、もう一度ペットボトルに戻す「ボトル to ボトル」を目指してまいります。

当社は、今後も店舗に集まるペットボトルを資源として、地域社会と一体になったリサイクル活動に継続的に取り組み、“循環型社会”の実現に貢献してまいります。

#### ■コンビニ用小型ペットボトル回収機



#### ■循環型リサイクル フロー図（イメージ）



【開発メーカー】株式会社寺岡精工

【機械サイズ】W:650mm、D:500mm、H:1100mm

【収 容 量】500ml ペットボトル 150 本

#### <nanaco ポイントの付与について>

電子マネー「nanaco」を nanaco リーダーにタッチしてからペットボトルを回収機に投入いただくと、ペットボトル5本投入につき1 nanaco ポイントが付与されます。

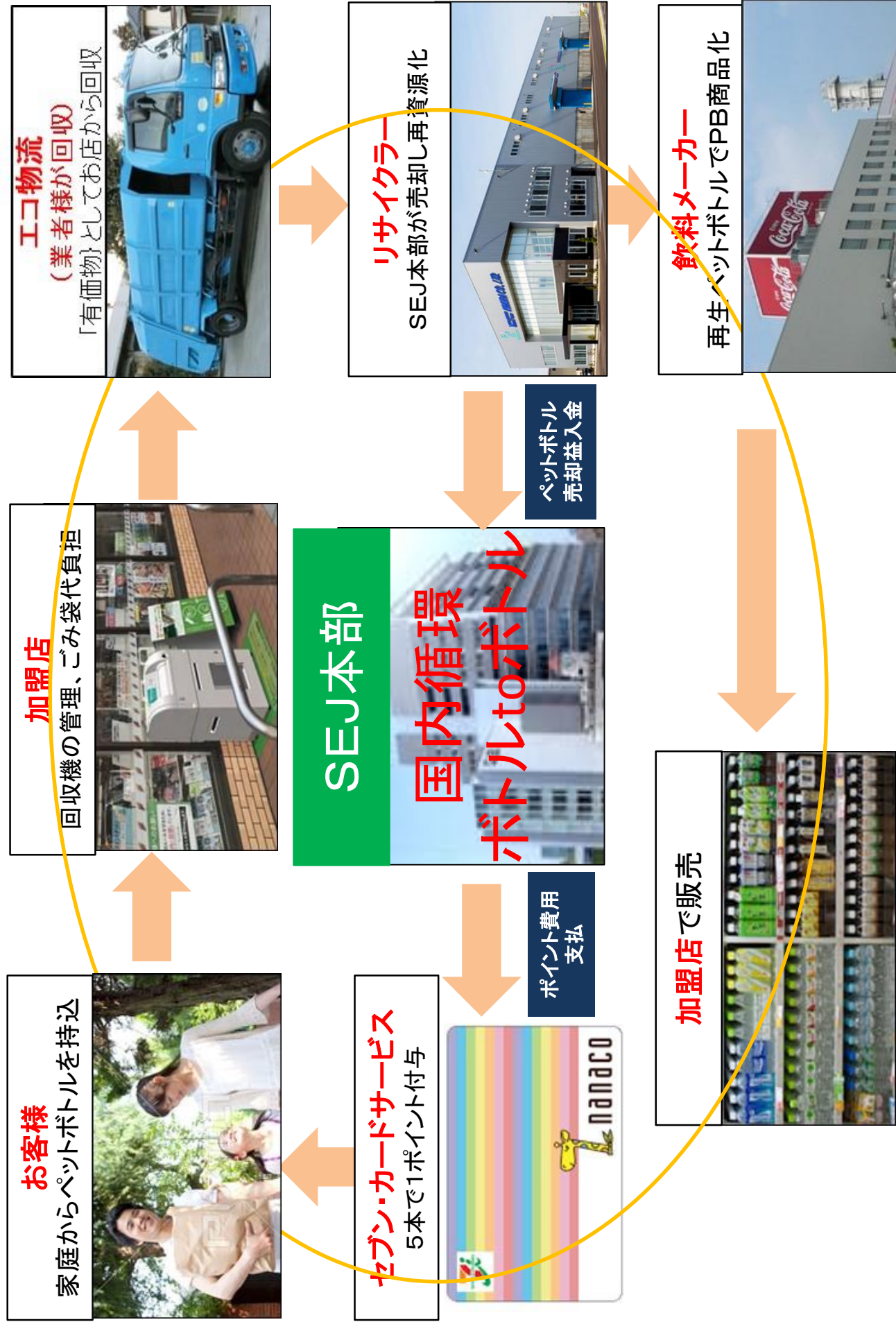
※投入されたペットボトルは累積でカウントされ、5本貯まった時点で3日後にポイント付与。

nanaco ポイントを付与することで、より高品質なペットボトルを効率的に回収し、身近な消費者参加型のリサイクルを推進します。

※この事業は環境省の「省 CO2 型リサイクル高度化設備導入促進事業」に基づいた取り組みです。

以上

# ペットボトル資源回収スキーム



2018年11月

ポイ捨て防止への決意を新たに  
～その意義を見つめ直して～

飲料メーカー6団体<sup>※</sup>からなる弊会は、飲料容器を中心に食品容器のポイ捨て防止、環境美化を目的として、40年以上にわたり活動してまいりました。

今般の海洋プラスチック問題については、陸域、海域を問わず、プラスチックが人為的コントロール下から離れ、環境中に放出されないようにすることが最も基本となるべき対策であると考えます。

また、対策として検討される生分解性プラスチックなどの代替素材の導入は、モラルハザードを引き起こし、ポイ捨てを助長するおそれがあるとの指摘があります。

このため、弊会は、以上を踏まえた自らの目的の今日的意義を改めて認識し、会員各社とともに、場所、容器の素材のいかんにかかわらず、引き続き以下の活動を推進してまいります。

- ① ポイ捨て防止啓発
- ② 環境美化教育の支援
- ③ アダプト制度の普及

具体的には、別添参照。

関連 URL: <https://www.kankyobika.or.jp>

※ 全国清涼飲料連合会、全国トマト工業会、日本果汁協会、コカ・コーラ協会、  
日本コーヒー飲料協会、ビール酒造組合

連絡先：公益社団法人 食品容器環境美化協会  
電話番号：03-5439-5121

## ①”統一美化マーク”をシンボルとするポイ捨て防止の啓発

### <取組みの概要>

1. 公益社団法人 食品容器環境美化協会(食環協)は、会員各社とともに、「統一美化マーク」(1981年採用)をシンボルマークとして、飲料容器のポイ捨て防止を約40年にわたり消費者に呼びかけ続けている。

#### 統一美化マーク



2. もともと1970年代始めの空き缶散乱問題に対処するための取組みからスタートしたものであるが、飲料容器の主流がビン、缶からペットボトルに移行するなどの時代の変化に応じ、統一美化マークも、その表示内容を変えながら、新聞、テレビ広告や自動販売機や立て看板、のぼり、横断幕などで、食環協及び会員各社が機会あるごとに掲出してきた。

#### 散乱防止啓発ポスターを制作し、配布



#### 自動販売機にステッカーを貼付

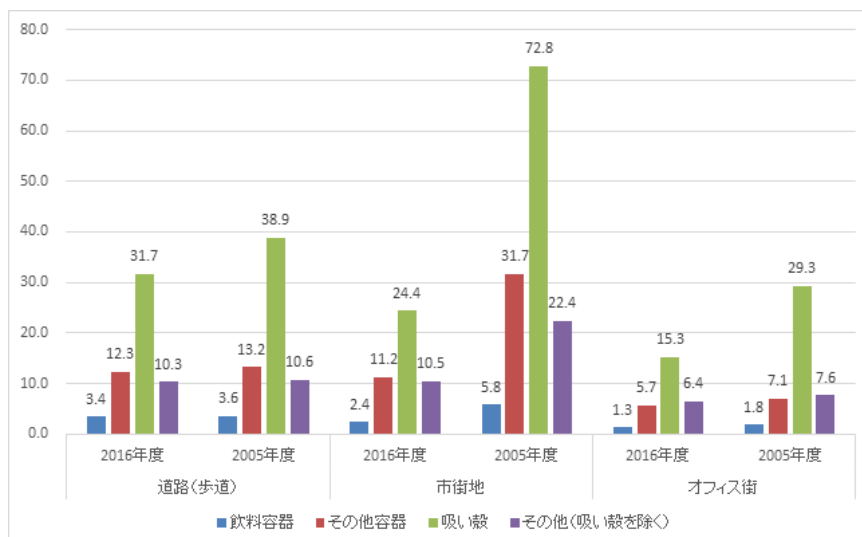


### <これまでの実績>

3. 法律で義務づけられたものではなく、飲料業界による自主的なシンボルマークであるが、政府の「空きカン問題連絡協議会(関係11省庁で構成)」において、その活用が申し合せ事項となる(1981年4月)などを経て、広く消費者に浸透している

4. 食環協の調査※(2016年度)によれば、飲料容器については2005年度と比較すると、歩道、市街地、オフィス街のすべてで平均散乱量(100m当たりの個数ベースの集計)は減少している。

#### ごみの種類別平均散乱量(単位:個)



※2005年に調査した首都圏、近畿圏の「散乱ごみ観測地点・50カ所」を2016年に再調査したもの

## ② 美化の心を子供たちに引き継ぐ環境教育の支援

### <取組みの概要>

1. 未来の社会を担う子供たちに、環境美化や資源循環の大切さを知り、必要な実践に移してもらうことを促進する観点から、公益社団法人 食品容器環境美化協会(食環協)は、次のような環境学習支援を行っている。

### 【環境美化教育の優良校の表彰】

1975年から、小・中学校を対象に作文コンクール等を実施してきたが、2000年度からは、文部科学省、農林水産省、環境省の後援を得て、散乱防止・リサイクルの実践教育で優秀な成果をあげている全国の小・中学校の表彰を行っている。



### 【児童向け環境学習支援サイトの提供】

楽しみながら学べる学習支援サイト「まち美化キッズ」をHPに開設し、学習プログラムの紹介ならびに関連資料の提供をしている。



### 【先生向けガイドの提供】

小学校での「社会科」「家庭科」「総合的な学習の時間」及び環境教育・環境学習の実践の場のための、小学校の先生向け環境学習ガイドを作成し、HPで提供している。



### <これまでの実績>

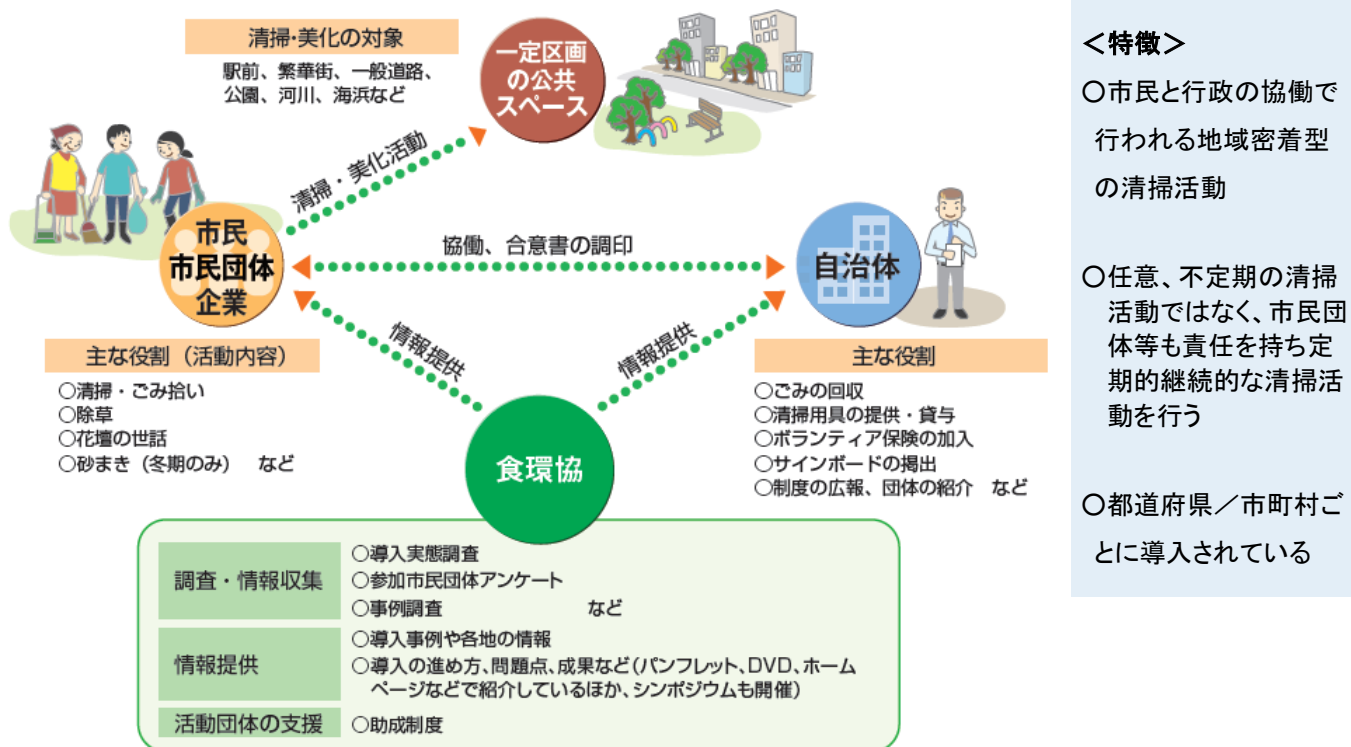
環境美化教育の優良校等表彰  
47 都道府県 1,147 校  
(2000年～2017年累計)

### ③ 新たなまち美化手法「アダプト・プログラム」の提案

#### <取組みの概要>

1. アダプト・プログラムは、1985年、ハイウェイでの散乱ごみ問題が深刻化していたアメリカで生まれたまち美化・清掃活動プログラムである。
2. アダプト(Adopt)は英語で「養子縁組をする」という意味。  
「アダプト・プログラム」とは、一定区画の道路や公園、駅前通りといった公共スペースを養子に見立て、地元の市民や企業・団体がわが子のように愛情を持って面倒をみ(=清掃美化を行い)、行政がそれを支援(ボランティア保険の加入等)するというものである。

#### <アダプト・プログラムのイメージ>



#### <特徴>

- 市民と行政の協働で行われる地域密着型の清掃活動
- 任意、不定期の清掃活動ではなく、市民団体等も責任を持ち定期的継続的な清掃活動を行う
- 都道府県／市町村ごとに導入されている

3. 公益社団法人食品容器環境美化協会(食環協)は、いち早く「アダプト・プログラム」に着目し、1998年から全国に紹介、その普及に努めるとともに、2012年からは、活動団体又は新たに活動しようとする団体に対し、清掃活動及びポイ捨て防止・啓発活動に必要な諸費用、清掃グッズを助成、支援している。

#### <これまでの実績>

アダプト団体への助成  
 助成先 436件  
 助成総額約 29百万円相当  
 (2012～2018年度累計)

#### <全国の導入状況>

- ・実施自治体数: 381自治体
  - ・アダプト・プログラム数: 約530プログラム
  - ・参加団体数: 43,000団体以上
  - ・活動者数: 250万人以上
- (2017年12月現在 食環協によるアンケート調査結果)